

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集：2025年度教員採用候補者選考にチャレンジ

7月7日、東京都、千葉県、新潟県などで2025年度採用予定の教員採用候補者選考の一次試験が行われました。静岡県、大分県、福島県、石川県の教員採用候補者選考もそれぞれ別日程で実施されており、本学教職課程を履修する54人（3年生前倒し受験を含む）が挑戦しました。

教職課程センターでは、夢をもって受験準備を行うすべての学生の健闘を祈念するとともに、今後行われる二次試験に向けても、面接練習や実技試験対策等を行い、学生の志を全力で応援していきます。

2024夏の挑戦 一次試験を終えて

〈受験生の感想〉

- 不安は多くありましたが、いつもの気持ちを忘れずに自分の全力を出すことができました。たくさん練習した成果を出し切ることができたと思います。
- 忘れもの、身だしなみには気を付けて当日臨みました。問題の不備や約1時間待機を指示されるなどのハプニングがありましたが、悔いなく自分の力を発揮できました。
- 筆記試験は難易度が上がっていると感じました。出題の傾向は特に変わりませんでした。長文は長くなったように感じました。集団面接、討論に関してはMETTSでの練習のおかげで特に心配なく取り組みました。
- 全体的にやり切ったという気持ちがとても大きいです。最後まで一生懸命勉強して臨めたので良かったです。論文では自分が考えたような結論を100%書けなかったことが本当に悔しい点でした。結果はもう変わらないので、必死に取り組めた自分を褒めたいと思います。仲間がたくさんいたことも頑張れる理由になりました。
- 小論文ではある程度納得する内容を書くことができたと考えています。書き終えて見直しをしている際に追記や修正したい内容があり、できる限りの修正を試みました。結果発表の日まで自身の力を信じて待ちます。
- 教育実習が終わってから2日後に採用試験ということでもとても不安でしたが、実習前にMETTSの先生方が講座を開いて下さったり、声をかけて下さったりして安心して一次試験を頑張ることができました。二次試験も感謝の気持ちを忘れずに挑んでいきたいです。

教員採用試験激励会 “努力は裏切らない”



7月3日、教員採用試験を受験する学生の激励会を開催し、80人を超える学生・教職員が参加しました。今年度、千葉県、東京都、福島県、新潟県、石川県、静岡県、大分県を受験する4年生35人と早期選考受験の3年生19人に向けて、教職課程センター長である藤井大輔教授から力強い激励の言葉がかけられました。そして、受験生には合格祈願のペンセットが配られ、METTSの教員からも激励の言葉が贈られました。

受験生を代表して、日本語学科4年の鈴木凜果さんと英米語学科4年の高木由紀さんからは、激励会開催と参加者への謝辞とともに、「チーム教職として頑張ります」という頼もしい決意表明がありました。教職課程を履修する2、3、4年生も参加し、先輩たちの健闘を祈っていました。



教員採用試験直前特別講座



千葉県と東京都の教員採用候補者選考に向けて、7月2日の2限に「特別講座」を開催しました。講師は本学客員教授の剣持勉先生にお願いしました。講座には15人の学生が参加しました。

講座は、まず、千葉と東京の一次試験の出題傾向を知ることになり、続いてすでに実施された静岡県と茨城県の試験問題を使って、押さえておくべき教育課題等について学修しました。その際、選択問題の解答のコツも学ぶことができました。最後に、「お悩みQ&A」と題した資料に基づき、面接試験も含めた採用試験に向けた心構えについて確認することができました。

参加した学生は、「受験までわずかな時期にやるべきことがはっきりしました。参加して本当に良かったです」と感想を述べていました。

受験する学生たちが本番の採用試験で持てる力を存分に発揮してくれることを願います。

足立区との教育連携事業 異文化交流会 足立区立扇中学校



7月10日、本学と足立区の教育連携協定事業の一環として、本学の留学生13人が足立区立扇中学校で8年生（中学2年生）67人と7年生（中学1年生）66人と英語による異文化交流会を持ちました。今回参加してくれた13人の留学生は、韓国、中国、ドイツ、ドミニカ共和国、ネパール、フィリピン、ペルー、香港、マレーシアの計9か国・地域出身でした。教職課程センター・地域学校教育センターの金子義隆教授と山本聖志教授が引率をしました。

留学生13人は、3時間目に8年生の授業に、4時間目に7年生の授業に参加しました。中学生の5人1組のグループに留学生は1人ずつ加わり、持参してきた写真を使って自分と自国の紹介（例：ドイツの城やソーセージ、ペルーのマチュピチュ遺跡や動物）をしました。その後、今度は中学生が紹介したい日本の観光地や特産物（例：笹団子や広島宮島、ナガシマスパーランド）を各自のタブレットを使いながら紹介しました。留学生も中学生もお互いの発表の後に質問し合ったりして英語でのコミュニケーションを楽しみました。



参加した中学生からは「英語だけでコミュニケーションをとるのはすごく難しいということが分かったのでこれからもっと英語を頑張りたい」や「今日来た留学生に日本のいいところなどを伝えられて楽しかったです」などと答えてくれました。また、留学生は「中学生が積極的に英語で質問してきてくれた。生徒同士が助け合いながら、日本文化を分かりやすく教えてくれた」と感想を聞かせてくれました。



明海大学・朝日大学 合同研修会 @朝日大学



6月29日、朝日大学にて合同研修会が実施されました。本学教職課程センター・地域学校教育センターから米村珠子教授が、朝日大学経営学部・英語教育センターから児玉靖明准教授が『高等教育における英語教育の現状と未来』というテーマで講演されました。

米村教授の講演では、授業で実際に学生が英語を使って活動する様子を動画で紹介しながら、本学の英語教員養成における成果と課題及び今後の取組について分かりやすく説明されました。



アゴラ活用状況（人）	
7月	587
2018年からの延べ数	61,439